

阿賀浦コミ協だより

令和 8 年 4 月 20 日
広報第 5 2 号
阿賀浦コミュニティ協議会
agauracomikyo@coral.plala.or.jp

早いもので 2026 年も四分の一が終わり、新年度を迎えました。皆様お元気にお過ごしでしょうか？
4 月からの新しい生活、進学、就職などで忙しい時期と思います。環境変化に伴い体調崩さないように健康
に留意して過ごしましょう。いつも阿賀浦コミ協活動に参加、ご協力をいただきありがとうございます。
今年度も引き続き宜しくお願い致します。



あきは区役所だより

未来ビジョン発表会

1 月 31 日(土) 秋葉区文化会館にて秋葉区感謝の集いが開催されました。第二部では未来ビジョン発表会があり、コミ協の事例発表会の報告がありました。阿賀浦コミ協・満日コミ協共催の「阿賀満にじいろまつり」(2025 年 10 月 25 日開催)について、阿賀浦コミ協の玉木さん(こども育成部長)が成果発表を行いました。



オープニング



玉木さんプレゼンの様子



金子准教授、渡邊自治協議会長総評

プレゼン資料抜粋

第 2 回阿賀満にじいろ祭り
～継続できる仕組みづくりを目指して～



阿賀浦コミュニティ協議会

第 2 回阿賀満にじいろ祭り

継続のために意識したこと

- ・子どもの声を起点に企画
- ・PTA、学校との連携
- ・学校行事との連携
- ・両コミ協+中学生の協力
- ・子どもへの配慮(食事、時間)
- ・大人と子どもも楽しめる内容



成果と課題、今後の展望

成果	課題、今後
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も楽しめた ・地域のつながりが拡大 ・協力する保護者が増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部のみに負担集中 ・継続できる仕組みづくり

日時：2025年10月25日(土)
(阿賀小学校 文化祭の後)

場所：阿賀小学校

主催：阿賀浦・満日コミ協

きっかけ：子ども達から「学校でお祭りがしたい」

目的：子どもが主役の場づくり
地域コミュニティの活性化

3 月 27 日(金) 15 時から、秋葉区役所 6 F において自治協議会主催の「秋葉区未来ビジョン」事業実施報告会があり、「第 2 回阿賀満にじいろまつり」実行委員長の井浦研さんが発表を行いました。以下のコメントを頂きました。

○現役世代の皆さんのご尽力が素晴らしいです。時間や SNS の使い方に工夫がみられました。

○子供中心で考えられていて配慮されているのが素晴らしいと思いました。

○子供とともに実施しているところが良い、PTA の協力がとても良かったです。

○こどもの声からはじまったイベントで世代を超えた交流が生まれてスバラシイ！！

阿賀浦コミ協だよりは、「新潟市地域活動補助金」を活用しています。今までのコミ協だよりは右の QR コードから参照できます。



第三回避難所運営委員会 & 避難所運営模擬体験

2月14日(土)新津地域学園において、第三回避難所運営委員会が開催されました。阿賀浦地区各自治会、町内会からメンバーが参加し、避難所単位に分かれて研修を行いました。今回は今まで2回の研修を踏まえ、避難所運営委員会の組織図(名簿)作成を目標に行いました。運営委員会は、総務班、情報班、救護班、環境班、食料物資班、ボランティア班により構成され、メンバーを決め各班の役割について確認しました。

講師は、中越防災安全推進機構、地域防災協力センター、野村卓也様です。



3月28日(土)勤労青少年ホーム体育館において、阿賀浦地区避難所運営模擬体験会を行いました。今までの3回の研修結果をもとに、各班に分かれ運営側の役を担うグループと、避難者側を担うグループを担当し訓練を行いました。秋葉区地域総務課の方による模擬応対も示されました。避難者役には、課題カードが渡され、難しい課題を運営役の方に問い合わせる形式で進め、終了後、運営役と避難者役を入れ替え、訓練を行いました。正しい答えの無い課題にどのように避難者に伝えるか頭を悩ませました。



つるしかざりの お祭り

秋葉区のひな・お宝めぐり、つるしかざりのお祭りが開催されました。2月1日から3月15日まで、新津地域交

流センターで、つるしかざりの展示が行われ、阿賀浦コミ協からは、新津東町サロンと大安寺サロンの作品が展示されました。

新津東町の取り組み

東町には10年以上前から「東町サロン」(地域のお茶の間)があり、高齢者のみなさんが月に一回勤労青少年ホームに集まって様々な活動をしています。その一つに三年前から「秋葉区ひな・お宝めぐり」への参加が加わりました。

今年の飾りは、昨年秋頃からサロンの皆さんに折ってもらった「だるまさん」(いろいろな表情でおもしろい!)を中心にしたもの、小さな折紙で色の美しさを追求したものなどで、交流センターに2つ、地域学園に2つ飾りました。昨年、せっかくだからみんなで一緒に見に行こうということになり、みんなで出かけてお食事会をし、おしゃべりをして楽しいひと時を過ごしてきました。



大安寺

力を合わせた「つるし飾り」

今年の「つるし飾り」はサロンの日に、カスタムポールと三面体を折りました。色紙を持ち帰り家で折った作品と、大安寺の折り紙名人の方々から寄せられた作品も組み合わせ、1月のサロンで全員が分担して糸に通してリングに吊し、2基の「つるし飾り」を完成させました。この2基は、地域学園1階エレベーター脇と2階市民サロンに飾りました。

これまでに制作した「つるし飾り」も改良して交流センターに2基、大安寺集落センターに3基展示しました。力を合わせた「つるし飾り」です。

(いきいきサロン大安寺)



各地区賽ノ神行事開催

2026年新年、小正月の行事として各地区で賽ノ神が行われましたので紹介します。
新潟県の各地で小正月の年中行事として賽ノ神祭りが行われています。防災・防疫・旅行安全・縁結び・安産などのご利益があるとされる賽ノ神（道祖神）のお祭りで、別名道祖神祭り・左義長火祭りとも呼ばれ、小正月の盛大な火祭りとして知られています。無病息災・五穀豊穰・一年の繁栄を願う祭りとして有名です。

新津東町

1月11日(日)午前、勤労青少年ホームにてミニ運動会が行われました。130名余りの東町の老若男女が4チームに分かれ、玉入れ・パン食い競走・大玉転がしなどで競いました。今回が初めての開催でしたが、大人も子供も活気にあふれ、楽しい時間となりました。

午後からは能代川の河原にて「さいの神」が執り行われ、東町の皆様の無病息災を願いました。寒波の襲来で中止が心配されましたが、イベントのタイミングで一旦弱まり、無事終わることができました。

夕方からは地域学園にて約20人集まり東町新年会が行われ、マジックショーやじゃんけん大会で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。



中新田

伝統ある地域行事の「塞ノ神」が1月12日(月・祝)に農村公園で行われました。

当日は悪天候で風が強い予報でしたので、小振りの塞ノ神となりましたが、組み立てには早朝から自治会、各団体の方々が協力し、稲わらで塔を作り飾り付けをしました。点火は今年の年男、年女にお願いして、1年間の無病息災を祈願しました。また、消防団には防火や警備等のご協力をいただきました。

当日は新年会も行われ、地域の方々との親睦も深まりました。参加された皆様、準備された関係者の皆様、ありがとうございました。



東金沢

1月11日(日)の午後、東金沢七体地藏前の田で、賽ノ神行事が行われました。天候の悪い中多くの方が参加して無病息災を祈りました。



大安寺

大安寺では1月11日(日)賽ノ神の予定で午前中から、PTA、農家組合、氏子、自治会の皆さんが協力して賽ノ神の藁の塔を組み上げましたが、昼頃から天候が悪化した為、点火は翌日12日の午後になりました。多くの方がスルメ炙り1年の無病息災、健康を祈りました。消防団には最後の消火片付けに尽力頂きました。



とば編み



新津安吾忌

坂口安吾は1955年(昭和30年)2月17日、新日本風土記の取材で高知から桐生に帰った翌朝、石炭ストーブに火をつけながら倒れ、脳出血で亡くなりました(享年48歳)。今年で4回目となる新津安吾忌が、2月17日(火)に新津地域学園で開催されました。

県内外から約35名の方に参加頂きありがとうございました。第一部は、安吾研究家の若月忠信先生による演題「白痴原稿から読み取る坂口安吾文学の世界」と題して講演を頂きました。白痴の生原稿をもとに安吾の作品の執筆方法について解説がありました。書きながら考え、加筆修正しながら仕上げていくとのことでした。

白痴は、1946年(昭和21年)6月1日、雑誌『新潮』6月号(第43巻第6号)の「小説」欄に掲載されました。敗戦間近の場末の荒んだ人々の暮す裏町の小屋に居る独身の映画演出家の男(井沢)が、隣家の白痴の女と奇妙な関係を持つ物語です。

「その家には人間と豚と犬と鶏と家鴨が住んでいたが、まったく、住む建物も各々の食べ物もほとんど変わっていません。」と小説が始まります。



白痴生原稿最終ページ



若月先生講演



受講者の皆さん



2026/02/17



浄土真宗僧侶読経



第二部は、秋葉区大安寺の安吾が眠る墓所にお参りしました。安吾が愛した日本酒がお供えされ、出身校の東洋大学 OB の方が花を手向けました。浄土真宗僧侶の読経の中参加者は墓前に線香をたむけ手をあわせました。

安吾文学碑移設

秋葉区にゆかりのある作家、坂口安吾の精神や偉業を知ってもらい、安吾文学に接するきっかけとなるよう平成6年(1994年)10月に市民団体(安吾の会)が、新津駅前派出所隣(現在の新潟薬科大学新津駅東キャンパス駐車場前)のポケットパークに坂口安吾文学碑を建立しました。新潟薬科大学が、新津駅東キャンパス隣接地に新校舎を建設する予定のため、より多くの人々に見ていただけるよう建立後に整備された新津駅東口前の広場に移設をしました。碑文には、安吾の文学精神や生き方を端的に表す「あちらこちら命がけ」という安吾直筆の色紙からとったものと小説「吹雪物語」の中の一説を安吾自筆の原稿用紙から抜粋して刻まれています。お近くにお越しの際にはぜひご覧下さい。

安吾忌参加の皆様には安吾缶バッジを記念にお渡ししました。



2025年4月30日養生して移設



あちらこちら命がけ



吹雪物語「汽車が新津につくと・・・」